

公共施設の課題について

(質問) 市役所本館の1階と2階には、市民生活に直結する課が集中していることから、国の補助金である公共施設等管理推進事業債を利用して、1階と2階を結ぶ階段にエスカレーターを設置してはどうか。

(答弁) エスカレーターの設置については、庁舎建設当時にも検討したが、安全対策を優先し、より安全なエレベーターを導入した。建物の構造面や耐震面での課題および財政面から設置は困難と考える。今後も、エレベーター内が混雑しない対策を講じるなど、適切な管理運営に努めていく。



自衛隊への名簿提供について

(質問) 本市は18歳と22歳の市民の住所・氏名を宛名シールにして自衛隊に提供している。自衛隊法第97条、自衛隊法施行令第120条に個人情報を提供する法的根拠はなく、政府解釈も名簿提供は義務ではない。本来であれば同意申請形式にすべき。本人の同意がない個人情報の提供は個人情報保護法に違反し、憲法第13条のプライバシー権の侵害であり、やめることを求める。

(答弁) 個人情報保護法、住民基本台帳法の規定上、適正であれば対応してきた。これからも法令上の審査を経て対応する。

その他の質問 ○保育行政



健康保険証について

(質問) 現在の健康保険証をマイナ保険証に切り替えない人でも、従来どおりの医療が受けられること、また、保険料を納めているのに医療が受けられないような事態には絶対にならない、しないことを示されたい。

(答弁) 国保・後期高齢者医療の現在の保険証は、令和6年8月に更新され、有効期限内は利用できる。その後もマイナ保険証を保有していない方全員に資格確認書が交付され、これまでと変わらず必要な保険診療を受けられる。

その他の質問 ○新交通システム ○サッカーチームへの支援



安心・安全な子育て支援の現状と課題

(質問) ①就学前施設の利用状況について、②放課後児童クラブについて伺う。

(答弁) ①社会情勢の変化に伴い保護者の需要が変化する中、公立幼稚園では集約化を進め、3年保育の取り組みを行っている。今後も子育て支援の質の向上に取り組み、安心して子育てができる環境づくりに努める。②少子化であっても、放課後児童クラブの登録児童数は全児童数の2割を超え、さらに増加傾向であるため、受け入れの環境整備が課題である。送迎支援事業などで待機児童対策に努める。

その他の質問 ○農林水産業の後継者不足



学校教育について

(質問) 天栄中学校が令和14年度から義務教育学校になる。義務教育学校を実施する効果について、また、校舎建て替えについて伺う。

(答弁) 義務教育学校は、柔軟な学年段階の区切りの設定ができるため、学校独自のカリキュラムの編成が可能となる。また、「中1ギャップ」の軽減も期待できる。義務教育学校の開校に向けては、教育内容や施設整備に関することなど様々な課題があるが、児童生徒の意見も取り入れ、しっかりと取り組んでいく。なお、校舎は新たに建設する方向で検討する。

その他の質問 ○防災



鈴鹿市南部の小規模校の統廃合の件

(質問) 「新たな小学校」の開校に向け、今後どのように取り組みを進めていくのかを問う。

(答弁) 年内をめどに「学校再編計画」の策定を目指す。今後は、教育委員会ホームページに設けている専用ページの認知度向上や、掲載内容のさらなる充実のほか、質問しやすい環境づくりや、未就学の子を持つ保護者への周知など、新たな取り組みを検討していく。本市の将来を担う子どもたちのあるべき姿の実現のため、教育内容や教育環境のさらなる充実に取り組んでいく。

その他の質問 ○地域活性化

